

夏美さんの学級では、宮沢賢治みやざわ けんじの作品を紹介し合う学習に取り組んでいます。次は、夏美さんの班が【紹介する詩】と、紹介するための【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【紹介する詩】

作品第一〇〇四番

宮沢賢治みやざわ けんじ

今日は一日あかるくにぎやかな雪降りです  
ひるすぎてから

わたくしのうちのまわりを

巨おおきな重おいあしおとが

幾度いくどともなく行きすぎました

わたくしはそのたびごとに

もう一年も返事を書かない

あなたがたずねて来たのだと

じぶんでじぶんに教えたのです

そしてまったく

それはあなたのまたわれわれの足音でした

なぜならそれは

いっぱい積こすえんだ梢こすえの雪が

地面の雪に落ちるのでしたから



## 【話し合いの一部】

夏美 この詩の「あなた」というのは、のことですね。この詩からは、心待ちにしていたが来る喜びが伝わってくるような気がします。

良夫 作者は、梢の雪が地面に落ちる音を聞いて、このことを実感しているのですね。どさっ、どさっ、どさっ、と雪のかたまりが何度も落ちる。その音を、「あしおと」に例えているのは、とてもおもしろいと思います。

明子 私も、「巨おおきな重おいあしおと」という表現が気になりました。「大」ではなく「巨」を使っていることで、。

広 それに、この「あしおと」は、ひらがなですね。ひらがなで書くことによって、梢から落ちるずしりとした雪の重みや、響いてくる音の大きさがよく伝わってくるように感じます。

夏美 そうですね。ところで、一つ疑問があります。「あかるくにぎやかな雪降り」という言葉なのですが、「雪降り」の日なのに、なぜ「あかるくてにぎやか」なのでしょう。



## 問題について

「読むこと」話し合いと関連づけて読む問題  
(宮澤賢治の詩を読む)

文学作品を読むときには、その作品全体の印象や内容をとらえるだけでなく、それほどのような言葉や表現によるのかを、しっかり考えるようにしましょう。また、感じたことを交流することにより、言葉の豊かさや言葉の世界の広がりを知ることができます。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

## 解答

19

1 春

- 2 (例) 音の大きさを強調していると思います。

\* 同様の内容が書いていればよい。

- 3 (例) (「にぎやか」というのは、)

梢の雪が地面の雪に落ちる大きな音が何度も何度も聞こえてくることを  
いっているのです。そして、その「あしおと」が「わたくし」の心を「あ  
かるく」させているのだと思います。(八十二字)

\* 同様の内容が書いていればよい。

\* 雪の落ちる音に触れ、「あかるく」なる「わたくし」の心について説明  
していること。

\* 常体は許容。

